



松井引退表明

日米507本塁打プロ20年に幕

「最高に幸せな日々」

【ニューヨーク共同】松井秀喜外野手(38)が27日、プロ野球巨人や米大リーグのヤンキースなどで強打者として活躍した

日夕(日本時間28日朝)、ニューヨーク市内のホテルで記者会見し、現役引退を表明した。「ゴジラ」

の愛称で親しまれ日本と米国で各10年間プレーし、日米通算507本塁打を放ったスラッガーは「最高に幸せな日々でし

た」と語り、20年間のプロ生活に幕を下ろした。松井は今季の開幕を所属先が決まらないまま迎えて、4月30日にレイズとマイナー契約。5月29日にメジャー昇格したが、34試合で打率1割4分7厘、2本塁打、7打点と不振で、8月1日に自由契約となった。その後も他球団と契約することなくシーズンを終え、去就が注目されていた。

石川・星稜高3年時に夏の甲子園大会での「5打席連続敬遠」が社会的結果振るわず区切り

松井秀喜外野手の話

本日をもって20年に及んだ野球人生に区切りをつけたいと思う。応援してくださったファン、報道の皆さまに感謝したい。今季はプレーする機会をもらいながら結果が振るわなかった。そのことが

い。巨人で当時の長嶋監督に出会い、日々指導していただき、その後の野球人生の礎になった。感謝してもし尽くせない。憧れのヤンキースのユニホームに袖を通して7年間プレーできたのは本当に最高の出来事だったし、最高に幸せな日々でした。

記者会見で現役引退を表明する松井秀喜外野手。27日、ニューヨーク

